

| 分野 | 授業科目名 | 単位数 | 時間数 | 履修時期 | 担当教師 |
|----------------|------------|-----|-----|-------|-------|
| 専門分野Ⅱ 母性看護学 | 60 母性看護学概論 | 1 | 30 | 1年次後期 | 高野 佳子 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------|
| テキスト(発行所) | 新体系 看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論 ウイメンズヘルスと看護 |
| テキスト以外の教材、 参考図書 | 公衆衛生がみえる |

| | |
|--------|---|
| 学習のねらい | 人間の性と生殖の意義を理解し、生命の尊厳についての考えを深めると共に、母性各期の特徴を理解し対象に応じた看護について学ぶ。 |
| 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 母性看護の対象の特徴を理解する。 2) 人間の性と生殖の意義を理解する。 3) 母子相互作用と母子関係の成立について理解する。母性意識と母性行動、母性愛の関係について学び、母性意識は発達していくものであることが理解できる。 4) 生命の尊厳や生命倫理について考え、看護者としての役割を理解する。 5) 母性看護の統計と法律より、わが国の今後の課題を理解する。 6) ライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期)を健康に過ごすための看護と、健康逸脱時の看護を理解する。 7) ライフサイクルを発達課題の視点から、母性看護の役割を理解する。 |

学習スケジュール

| 回数 | 主題 | 学習内容 | 履修形態 他 |
|----|--------------------------------|---|--------|
| 1回 | 母性看護学の学習目標と位置づけ 母性看護の概念 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 母性看護学の学習目標 2) 基礎看護教育の中での母性看護の位置づけについて考える。 3) 母性看護とは ①母性看護の対象②母性看護の目的③母性看護の機能と役割④母性看護に関わる職種と活動の場⑤種族保存や生殖の意義 | 講義 |
| 2回 | 母性の概念と母性看護の機能と役割について理解する。 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 母性と父性の概念、特性 2) 母親役割と父親役割 3) リプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義と基本的要素 4) 家族発達 | 講義 |

| | | | |
|-----|------------------------|---|-----------|
| 3回 | 母性看護の対象の特徴を理解する。 | 女性の身体的特徴 1) 解剖学的特徴と性周期 2) 生殖機能の特徴と変化からみた女性のライフサイクル 妊娠期の感情変化 妊娠シミュレーター「エンパシーベリリー」を使用し ての身体的・精神的変化 | 講義 実習室 |
| 4回 | 人間の性と生殖の意義を理解する。 | 人間の性と生殖の概念 1) 女性と男性以外の性 ・性同一性障害 ・性分化疾患 2) 社会的性同一性(ジェンダー) ライフサイクルにおける性と性周期 | 講義 |
| 5回 | 母性保健の統計 | 母性保健の統計を読み、母性看護の現況を具体的にイメージし、今後の母性看護のあり方、課題を考える。 ①出生②合計特殊出生率③周産期死亡④死産 ⑤妊産婦死亡⑥婚姻・離婚 | 講義 |
| 6回 | 母性保健の法律 | ①母子保健法②労働基準法③男女雇用機会均等法 ④育児・介護休業法⑤母体保護法⑥死産の届け出に関する規定⑦戸籍法 | GW |
| 7回 | 母性保健の法律 | 発表 | 発表 |
| 8回 | 児童虐待と母子関係の課題 DV | 児童虐待の現状と対応 母子および父子関係の課題 | 講義 |
| 9回 | 思春期・成熟期・更年期・ 老年期の看護 | 発表準備 | GW |
| 10回 | 思春期・成熟期・更年期・ 老年期の看護 | グループ発表 | |
| 11回 | 思春期・成熟期・更年期・老 年期の看護 | グループ発表 | |
| 12回 | 思春期の特徴 | ①月経の開始②思春期貧血③肥満と痩せより健康増進、健康維持、健康回復のための教育④10代妊娠と中絶 | 講義 |

| | | | |
|-----------------------|---|---|----|
| 13回 | 成熟期の特徴 | ①健康生活設計②健康管理のポイント③性生活 ④結婚、子育て、家族計画⑤生きがい⑥生殖器疾患(喪失に伴う悲しみ、自尊感情の低下)⑦性生活の異常⑧不妊⑨精神の異常(うつ病、アルコール依存症、摂食障害) | 講義 |
| 14回 | 更年期・老年期の特徴 | ①更年期障害②空の巣症候群③更年期うつ病 ④骨粗鬆症 | 講義 |
| 15回 | 母性看護学概論まとめ | ①母性看護学の動向 ②母性看護の役割と課題について ③倫理的問題 | 講義 |
| 単位認定の方法 | 1. 30時間のうち、24時間以上の出席が必要である。 2. 試験 100点満点で、60点以上を合格とする(グループ発表得点と終講試験を合わせる)。 | | |
| 受講上のアドバイス | 母性看護概論では、母性とは何かを幅広くとらえリプロダクティブヘルス/ライツについて理解し、生命の倫理問題についても考える機会とする。女性の一生を通じた、母性の健康の保持・増進を旨とした看護の実践を理解するため、思春期・成熟期・更年期・老年期という流れの中での健康維持のための保健指導、健康逸脱時の看護を考えていく。母性の統計や法律にも目を向け、広くとえられる能力や知識、実践能力を身につけるためグループワークでの展開も取り入れ、社会の変化に応じた看護師の役割を学ぶ。 | | |
| 担当教員の 実務経験 | 病院で助産師・看護師としての実務経験あり | | |